

町村をむすぶ

MIYAGI 宮城 町村会だより

<http://www.miyagi-ck.gr.jp>

2020
6-7
Vol.497



町村会のうごき

共済事業アレコレ

町村通信 21 ～利府町～

まちを変える。ひとをつなぐ。しごとを創る。
利府町まち・ひと・しごと創造ステーション tsumiki

薬菜山

薬菜山は「加美富士」とも呼ばれ、町民に親しまれています。スキー場まで足を運んでみると、青い空と緑色の草木が広がり、初夏を感じさせてくれます。空気がとても澄んでおり、散策にもオススメです。

写真・文 提供/加美町

全国町村会政務調査会財政委員会

令和3年度政府予算等への要望を審議 —— テレビ会議方式で開催 ——

6月17日、テレビ会議方式による全国町村会政務調査会財政委員会(委員長・佐藤仁宮城県町村会長)が開催されました。

今回、特に新型コロナウイルス感染症の感染拡大が予断を許さない状況であることから、初のテレビ会議方式が導入されました。会議は、財政委員会に所属する全国15府県と全国町村会をテレビ回線で結び、佐藤委員長の進行で議事が進められました。



議事を進行する佐藤仁会長



県町村会会長室

空席であった副委員長に、西田(三重県)町村会長が選任され、その後、各都道府県町村会から事前に提案された令和3年度政府予算編成並びに施策に関する要望について協議し、「大規模震災・豪雨災害等からの復旧・復興と全国的な防災・減災対策の強化」ほか9項目を決定しました。後日、全国町村会理事會を経て関係方面に要請されます。

北海道東北六県町村会会長会議

各道県の提案を協議、国への要望について決める

6月22日(～23日)、北海道函館市において北海道東北六県町村会の会長会議が開催され、北海道東北六県町村会協議会の令和元年度会務について報告があり、協議会の歳入歳出

消防団員補償報償組合

新役員を選任

5月27日、県自治会館において宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合(組合長・佐藤仁南三陸町長)令和2年度第1回組合議事が開催されました。

去る4月1日にあった議員改選から初の議会となり、新役員を次のとおり選任したほか、専決処分1件を承認しました。

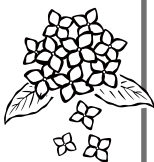
《役員》

- 議長 山田司郎 名取市長
 - 副議長 齋 清志 大原町長
 - 監査委員 千葉健司 栗原市長
 - 監査委員 相澤清一 美里町長
- 任期…令和2年4月1日から令和4年3月31日まで(2カ年)

町村会日誌

決算を審議、承認しました。その後、新型コロナウイルス感染症対策を含む令和3年度政府予算編成並びに施策に関する要請、東日本大震災に関する特別要請について協議、決定しました。8月下旬に国会、政府関係省庁に要請される予定です。

町村会日誌



- 5月
 - ▼26日 新型コロナウイルス感染症対策に係る市町村長会議(WEB会議) 佐藤会長出席
 - ▼27日 宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合議事(県自治会館)
- 6月
 - ▼17日 全国町村会政務調査会、理事会、都道府県町村会会長(テレビ会議) 佐藤会長出席
 - ▼18日 監事會(県自治会館)
 - ▼22日(～23日) 北海道東北六県町村会会長會議(北海道) 佐藤会長出席
 - ▼26日 正副会長會議(県自治会館)
 - ▼26日 町村長會議(県自治会館)

県主催 新型コロナウイルス感染症対策に係る市町村長会議

町村の協力体制、医療現場への支援強化など佐藤仁会長が発言

5月26日、県主催の第3回新型コロナウイルス感染症対策に係る市町村長会議が、県内8会場をWEBで結び開かれました。会議は、前回（4月22日）に続き新型コロナウイルス感染症対策における県と市町村との情報共有を目的にしたもので、本会を代表して佐藤仁会長（南三陸町長）が発言した後、各町村長と意見交換を行いました。



気仙沼会場から発言する佐藤仁会長（前列左）菅原茂気仙沼市長（同右）



県庁特別応接室において村井県知事（前列右）、郡仙台市長（同左）

◆佐藤会長の発言要旨

知事から全都道府県の緊急事態宣言の解除を受けて7月31日までの対応方針が示された。町村会としても感染が再発しないよう段階的に緩和していくという県の方針に協力していきたい。その上で医療の現場と水道事業についてお話をしたい。

現在、医療機関は大きな減収を余儀なくされている。感染拡大を防止するため不要不急の受診抑制により、収入も大きく減少している。疲弊している医療現場への支援は最優先課題である。いま対策を講じなければ第2波第3波が発生した際に、医療現場での適切な対応は困難となるだろう。病院の減収補填については、国の第2次補正予算の臨時交付金2兆円とは別枠で対応されるよう国への働きかけを知事をお願いしたい。

また、公営企業という観点では水道事業においても休業、時短営業などの影響で経営は大変厳しい状況にある。国からの財政支援について強力に要請してほしい。

町村長会議

令和元年度の 歳入歳出決算を認定

6月26日、県自治会館において令和2年度第1回町村長会議が開催されました。

会議では、令和元年度の県町村会会務が報告されました。その後、議事に入り①令和元年度一般会計歳入歳出決算、②令和元年度公有物件共済事業特別会計収支決算、③全国町村職員生活協同組合宮城県支部会計歳入歳出決算を審議、承認されました。

また、令和3年度政府予算編成並びに施策に関する要望（案）、東日本大震災、令和元年東日本台風および



新型コロナウイルス感染症対策に係る特別要望（案）を協議、決定しました。要請活動は、8月上旬に町村長が参加して国会議員、政府関係省庁に行われる予定です。

まちを変える。ひとつをつなぐ。しごとを創る。 利府町まち・ひと・しごと創造ステーション tsumiki

仙台都市圏にありベッドタウンとしての発展を続けてきた利府町の拠点施設「tsumiki」が独自の手法で賑わいの創出に取り組んでいます。

積み木で遊ぶように使い方は自由。

みんなで積み上げたり、組み合わせたりするうちに、新しい仕事やまちづくりのアイデアが生まれる。そんなコンセプトで誕生したtsumikiは、
①人づくり（市民活動）、②仕事づくり（起業・創業）、③駅前の賑わいづくり、④町への愛着づくりなど複合的な目的を持ったコワーキングスペースで、3時間250円（ワンドリンク付き）で誰でも利用できます。平成28年11月の開館以降、子育て世代の女性の利用が多い特性を踏まえ、やりたいことを小

さなりスクで始められる「小商い」に着目し、起業セミナー「こ・あきない塾」やチャレンジマーケット「こ・あきない市」を行い、小商い実践者の創出とネットワーク化を図っています。

さらに、ゆるい交流・マッチングの場となる「しゃべりBAR」や、フリーペーパー「つみきのキモチ」の取材・ライティングを担う人材を育てる「町民ライター塾」など多様な企画を展開しています。昨年度には、これまでの取組みをとりまとめた「tsumiki book」を発行しました。

今後、さらに多くの町民が集い、新たな価値が創出されるようチャレンジを続けていきます。



もくようマルシェ



起業相談



tsumiki 外観

町村会の予定

7月

7月12日 市町村職員採用統一試験

8月

8月5日 宮城県関係国会議員への要望事項説明会

8月6日 政府要請活動

8月20日 政務委員会幹事会



*新型コロナウイルス感染予防のため、日程が変更になることがあります。

共済事業アレコレ

自動車事故にあったときには

公用車も自家用車も、いつ事故に遭うかわかりません。事故が発生したら以下のような点に注意して焦らずに対処しましょう。

●けが人や損害の確認

けが人がいる場合、速やかに救護をおこない、必要なら救急車を手配します。また、損害状況を確認し警察に通報してください。通報しなかった場合、事故証明書が取得できず対応できない場合もあります。

●口頭で賠償の約束をしない

事故の過失割合は過去の判例などを参考に交渉しますが、動いている車同士の事故であればほとんどの場合お互いに過失が発生します。事故現場で相手への賠償を約束してしまうと、後々の交渉に差し支える可能性がありますので、ご注意ください。

●事故処理が終わったら

現場での事故処理が終了したら、休日夜間でも対応可能な事故受付フリーダイヤルまでご連絡ください。また平日日中は宮城県町村会事業推進課でも受付させていただきます。

事故受付フリーダイヤル TEL 0120-258-459

宮城県町村会事業推進課 TEL 022-221-9203

受付後は交渉担当者がお相手との示談交渉にあたらせていただきます。円満な事故解決のため、ご契約者様の適切な初動対応と迅速な連絡をお願いします。